

令和5年度（2023年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和5年8月1日

調書番号	08-05	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 上前 孝之
				担当係	河川計画係（内）29-323

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	大規模特定河川事業費、広域河川改修事業費（社会資本整備総合交付金）								
ふりがな地区名	よいちがわ 余市川	市町村名	仁木町・余市町・赤井川村	総事業費	40,477 百万円				
負担割合	国	55.0%	道	45.0%	市町村	—	その他	—	
		22,262 百万円		18,215 百万円		— 百万円		— 百万円	
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●余市川は、日本海に注ぐ二級河川で、S7年（1932年）9月、S31年（1956年）8月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。</li> <li>●このため、S31年（1956年）より当該計画区間（L=30.6km）の河川改修事業に着手。</li> <li>●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、仁木町北町地区、余市町黒川町地区、赤井川村都地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。</li> </ul>								
	【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> <li>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 5,238戸 → 0戸</li> <li>●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 1,388ha → 0ha</li> </ul>								
事業概要	余市川は、河口から30.6kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。	工事費内訳	計画流量	Q=1,450m <sup>3</sup> /s	(百万円)	(百万円)	(百万円)		
			計画延長	L=30,600m	前回評価	今回評価	増減額		
			築堤工	L=52,780m	4,482	6,548	2,066		
			掘削工	L=30,600m	6,951	7,633	682		
			護岸工	L=14,900m → 15,750m	7,784	8,703	919		
			附属工事	道路橋N=15橋、JR橋1橋等	5,645	5,645	0		
			測量設計費	調査・設計	6,073	6,578	505		
用地費及補償費	用地買収・物件補償	5,370	5,370	0					
計				36,305	40,477	4,172			
総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	生活・安心	中項目	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	小項目	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	施策名	大規模自然災害対策の推進（強靱化）
特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P28】 （河川改修等の治水対策） 河道の掘削、築堤、放水路、ダム、遊水地の整備などの治水対策について、近年の大雨災害等を勘案した重点的な整備を推進する。							
	関連する指標	-							

II 公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
							27,750	12,488			
事前評価又は当初	S31 (1956)	S31 (1956)		H29 (2017)							
前回再評価	S31 (1956)	S31 (1956)	H30 (2018)	H50 (2038)		36,305	16,337		30,821	85%	
今回評価			R5 (2023)	R20 (2038)	67	40,477	18,215	780	33,739	83%	

変更理由・内容（概要）

- (1) 河岸侵食箇所における護岸工の増などによる増額
- (2) 堤防質的整備工事を行うことによる増額
- (3) 河道計画変更に伴う護岸工の増などによる増額
- (4) 堤防天端舗装工の追加による増額
- (5) 資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S7年（1932年）9月 浸水被害が発生（浸水面積472ha、浸水家屋581戸）</li> <li>● S31年（1956年）8月 浸水被害が発生（浸水面積611ha、浸水家屋27戸）</li> </ul>				
2. 事業検討の手續（住民への把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● S31年（1956年）8月 余市町、大江村（現仁木町）より道に河川改修の要望</li> <li>● S31年（1956年）12月 改修事業に着手</li> </ul>				
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仁木町北町地区、余市町黒川町地区、赤井川村都地区などの市街地及び農地 氾濫防止面積2,705ha（うち農地 1,388ha）、浸水防止家屋5,238戸</li> </ul>				
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

#### IV 事業の実施状況

(1) 事業実績及び今後の計画														
施工(工種)区分	工事内容	S31	～	63	H1	～	R1	～	5	6	～	30	進捗状況	事業費(百万円)
築堤工	L=52,780m	<		L=21,380m	(暫定 L=32,830)					>	L=31,400m	>	44%	6,548
掘削工	L=30,600m	<		L=6,700m	(暫定 L=30,600m)					>	L=23,900m	>	95%	7,633
護岸工	L=15,750m	<		L=10,260m						>	L=5,490m	>	94%	8,703
附带工事	道路橋N=15橋、JR橋N=1橋等	<		道路橋15橋、JR橋1橋等									100%	5,645
測量設計費	調査・設計	<											71%	6,578
用地費及補償費	用地買収・物件補償	<											94%	5,370

#### (2) 進捗状況

河口から5.1km区間の整備及び計画終点までの暫定整備が完了。今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

**a**

a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。  
c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。

経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		備考
項目	R5現在	項目	R5現在	
洪水被害防止効果	2,659,353	建設費	546,338	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2(2020))に基づき算出</li> <li>●効果及び費用はR5(2023)に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出</li> <li>●効果は、洪水氾濫における直接被害額(家屋、公共土木施設、農地等)及び間接被害額(営業停止被害等)により年平均被害軽減期待額を算出</li> <li>●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。</li> </ul>
		維持管理費	731	
合計(B)	2,659,353	合計(C)	547,069	
B/C	前回算定年度 : H30年度(2018年度)【再評価】 前回算定時B/C : 4.00(合計(B)1,574,363 合計(C):393,215) 変更理由 :			
R5現在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の増額に伴う費用の増加</li> <li>・治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法が見直されたことによる。</li> <li>・効果及び費用をR5(2023)に現在価値化したことなどによる。</li> </ul>			
3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容		縮減額(百万円)
	施工の最適化	旧河口港埋立土砂を他事業により発生した建設副産物から全量確保		50
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻を護岸の中詰材へ再利用		5

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業は、仁木町北町地区、余市町黒川町地区、赤井川村都地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。</li> <li>● 事業着手後も、H10年(1998年)9月(家屋24戸)などに浸水被害が発生。</li> <li>● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。</li> </ul>					
	<b>a</b>	a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 魚類などに配慮し、現況河床や現況河岸を極力保全する。</li> <li>● 河畔林を極力保全する。</li> </ul> ※直近の評価以降の状況変化はない。					
	(2) 事業推進に対する地域の動向・意向					
3. 事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仁木町、余市町、赤井川村から事業の早期完成に向けての要望が毎年出されている。</li> </ul> ※直近の評価以降の状況変化はない。					
	(3) その他の課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になし</li> </ul> ※直近の評価以降の状況変化はない。					
4. 対処方針	事業期間が長期に及ぶものの、現状では特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。					
	<b>a</b>	a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。				
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和20年度(2038年度)の完成を目指し、事業継続する。					
	<b>a</b>	a: 継続	b: 終了	c: 休止	d: 中止	
	事業期間変更の有無	無	事業内容変更の有無	無	総事業費変更の有無	有

## VI 備考

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価： 再評価：平成30年度（2018年度）評価 評価結果：継続（変更なし） B/C=4.00
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

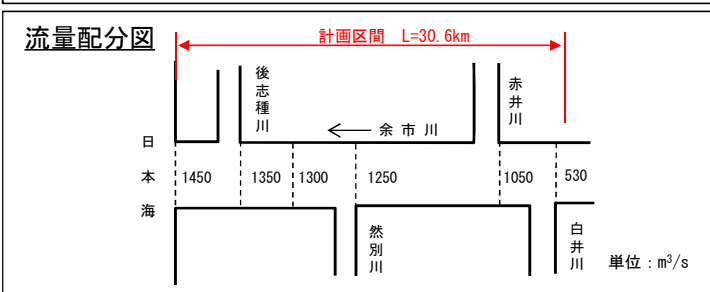
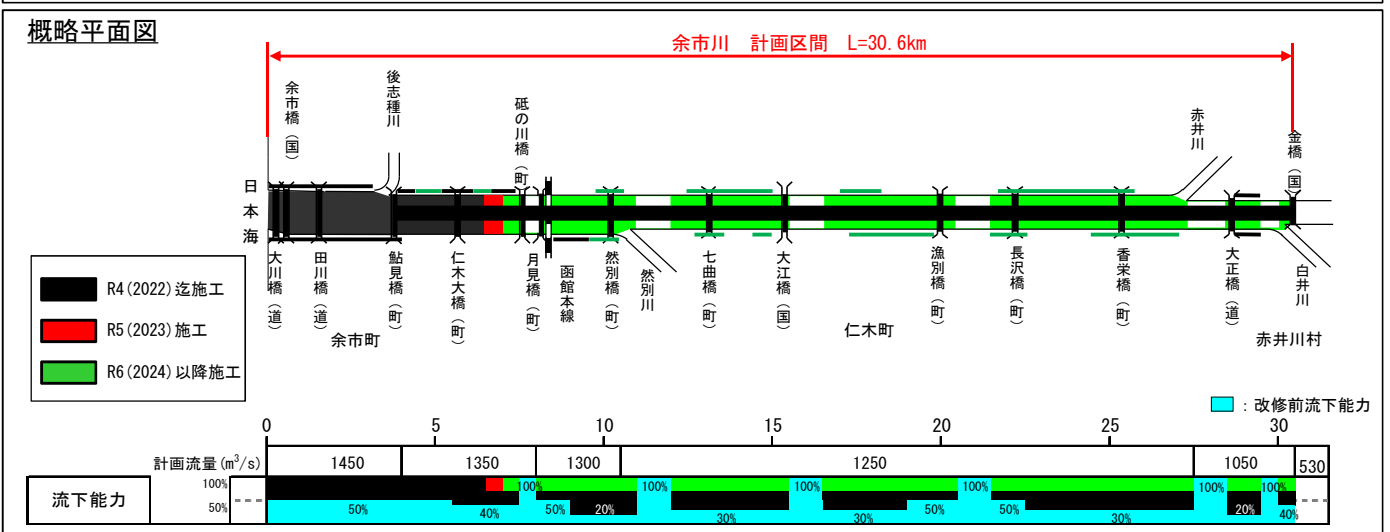
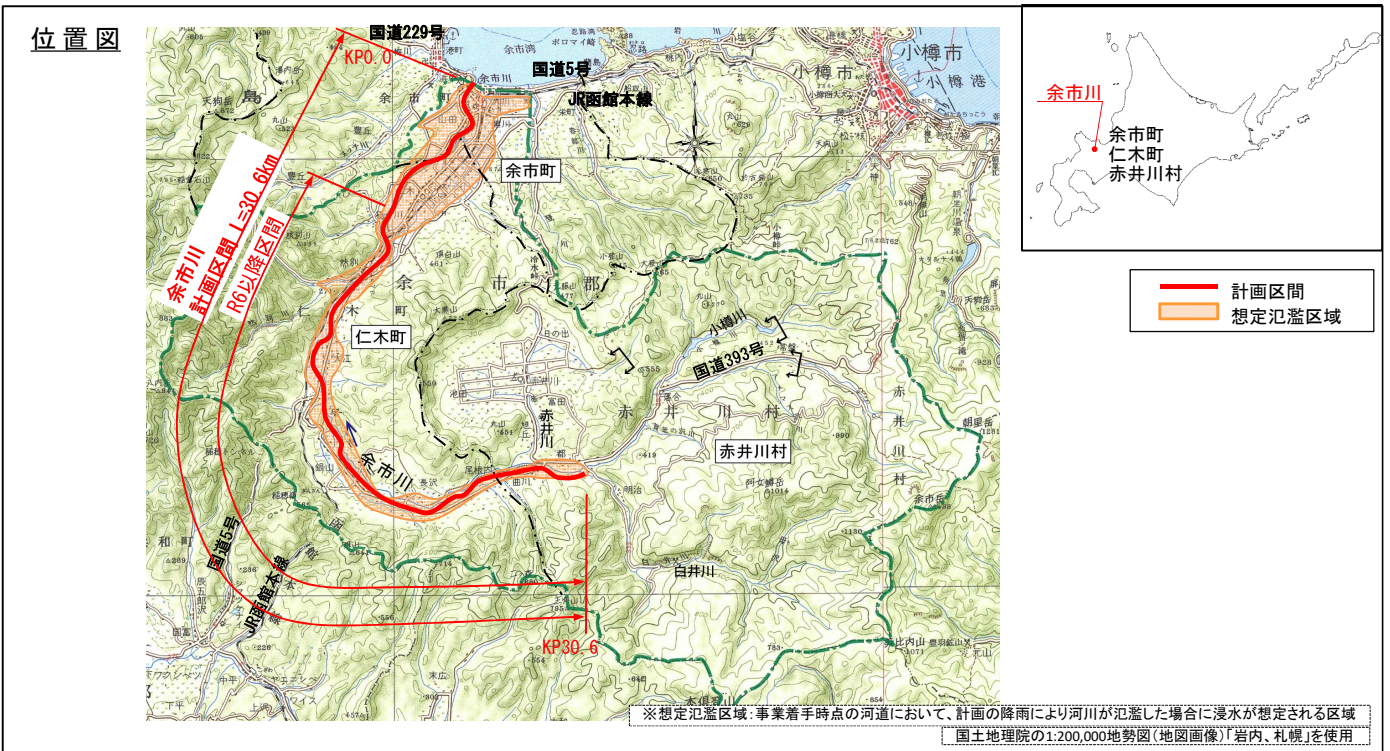
## 補足資料

### VII 事業計画変更

（単位：百万円）

事業経過							経 過 年 数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度 事業費	累計事業 費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		S31 (1956)	S31 (1956)			H29 (2017)	67	27,750			
変更①	1回目			H15 (2003)	H15 (2003)	H24 (2012)		28,500			
変更②	2回目			H20 (2008)	H20 (2008)	H26 (2014)		29,400			
変更③					H23 (2011)	H26 (2014)		30,184			
変更④	3回目			H25 (2013)	H25 (2013)	H40 (2028)		33,284			
変更⑤	4回目			H30 (2018)	H30 (2018)	H50 (2038)		36,305			
変更⑥					R3 (2021)	R20 (2038)		36,838			
変更⑦	5回目			R5 (2023)	R5 (2023)	R20 (2038)		40,477	780	33,739	83%
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	<p>変更①：事業期間・総事業費の変更            ・事業費精査による            ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の短縮</p> <p>変更②：事業期間・総事業費の変更            ・掘削残土の運搬距離の増などによる増額            ・残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の延伸</p> <p>変更③：総事業費の変更            ・掘削工に伴う仮設工法の変更（汚濁防止施設）による増額</p> <p>変更④：事業期間・総事業費の変更            ・河岸侵食防止のための護岸工の増などによる増額            ・事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことなどによる事業期間の延伸</p> <p>変更⑤：事業期間・総事業費の変更            ・排水樋門の耐震補強工事を行うことによる増額            ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額            ・事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことなどによる事業期間の延伸</p> <p>変更⑥：総事業費の変更            ・河岸侵食箇所における護岸工の増などによる増額</p> <p>変更⑦：事業期間・総事業費の変更            ・堤防質的整備工事を行うことによる増額            ・河道計画変更に伴う護岸工の増などによる増額            ・堤防天端舗装工の追加による増額            ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更による増額</p>										

事業名	大規模特定河川事業費 広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	余市川	採択年度	S31 (1956)
-----	--	-----	-----	------	---------------



### 計画諸元

流域面積 (km <sup>2</sup> )	455.1
計画延長 (km)	30.6
氾濫面積 (ha)	2,705
計画雨量	158mm/日
計画高水流量 (m <sup>3</sup> /s)	1,450
計画勾配	1/1430~1/100

